

青少年赤十字

魚釣りゲーム・缶バッチ作り 白子高校



生徒の声

子どもたちだけでなくご年配の方たちにも会場の雰囲気を楽しんでもらえて、とても嬉しかったです。笑顔で声かけをするのに頑張りました。笑顔での対応の大切さを感じました。今後も色々な場面で生かしていきたいです。

令和6年12月14日(土)

令和6年度 三重県青少年赤十字のつどい

令和6年12月14日(土)、鈴鹿ハンター1階センターコートで「三重県青少年赤十字のつどい」が開催されました。6校56名のJRCメンバーの高校生たちが自分で考えたイベントブースを出展。参加者同士の交流を深めるとともに、家族連れを中心とした大勢の来場者の方にイベントを楽しんでもらい、赤十字の活動への理解を深める貴重な機会となりました。

バルーンアート・折り紙・ミサンガ販売 木本高校



自分ができることを積極的に見つけて手伝ったり、助け合ったりしたことは貴重な経験になりました。皆で協力して作り上げる作業を通じて、部活内での団結力が高まったと思います。

クリスマスオーナメント作り 飯野高校



7名のJRCメンバーが参加。クリスマスオーナメント作りは大勢の子どもたちに体験してもらいました。来場者の方に些細なことにも感謝の意を表していただき、やりがいを感じられました。

スタンプラリー 高田高校



4名のJRCメンバーが参加。他校とも協力して、スタンプラリーや昔の遊びを楽しんでもらい、幅広い年齢の方たちと交流できる機会になりました。部員からは、子どもたちとのふれあいは将来の夢に生かせる良い経験になったという声も聞かれました。

募金活動・感謝状贈呈



当日は、参加した生徒たちが鈴鹿ハンター入口に立って、NHK海外たすけあい募金への協力を呼びかけました。ステージでは青少年赤十字活動資金協力校への感謝状贈呈も行われました。

リーダーとして JRC活動に取り組んだ感想

考えていた以上にリーダーとしての役割は大変でしたが、この経験を高校生活のうちにできたことはとても良かったと感じています。JRC活動を通じて、今何が求められているのかを考え行動に移せるようになりました。他校と一緒に活動する中で人脈が広がり、人との関わり方について学んだりして、沢山成長できました。この成長をこれからの日常生活や進学先での学び、将来に活かしていこうと考えています。



第3回三重県青少年赤十字高等学校連絡協議会及び顧問会議(3年生を送る会)を開催しました

令和7年2月8日(土)、日本赤十字三重県支部にて、第3回三重県青少年赤十字高等学校連絡協議会及び顧問会議を開催しました。指導者9名、生徒27名が参加して、1年間、JRCの活動の中心となってきた活動してきた3年生への感謝の気持ちを伝える「3年生を送る会」として開催しました。

今回は支部社屋移転後初めての開催となり、災害支援センターとしての機能を持つ新社屋の施設見学もしました。協議会では各学校の活動交流や今後の活動の確認を行い、卒業する3年生と来年度の活動の確約を交わし、卒業する3年生からは、「中学校の時からボランティアに興味があり、高校になってJRC部で活動ができてとても有意義な高校生活になりました。とてもいい経験になるのでこれからも頑張ってください。」とメッセージを送ってもらいました。3年生のみなさん、1年間、ありがとうございました。



昔の遊び 全参加校



正月飾り・農林ミカン販売 久居農林高校



生徒の声

募金箱を持って支援を呼びかけるという経験は初めてのことでした。募金してくださった方々は皆さん「頑張ってるね」など声をかけてくださり、人の温かさを実感しました。



髪クリップデコレーション体験 障がい者関係展示・クイズ 紀南高校



ブースでの活動を通じて、小さな子どもたちの様子を学ぶことができました。

会場内では各校が、バルーンアートや缶バッチ作り、正月飾り販売、クリスマスオーナメント作りなど、それぞれに趣向を凝らしたイベントブースを出展しました。また、各校共同で昔の遊びブースを出展。子どもたちに輪投げやけん玉など懐かしい遊びを体験してもらいました。ステージでは玉垣小学校・神戸小学校の子どもたちによる金管バンド演奏の披露があり、堂々としたパフォーマンスは見応えたっぷりでした。

午後からはJRC加盟校各校の活動報告の時間に。他校の活動内容を詳しく知ることができて参考になったという声が多く聞かれました。その後、三重県支部による能登半島地震災害支援報告や青少年赤十字活動資金協力校への感謝状贈呈などを経て閉会。

参加した各校の生徒たちは同じ思いを抱いて活動するJRC部員同士の交流を深めるとともに、来場された多くの皆さんとふれあいの時間を持つことで、今後の活動の励みとする機会となりました。

3名のJRCメンバーが参加。ヘルプマークや白杖SOSシグナルをはじめとした障害を持つ方に関するシンボルマークの展示に興味深く眺める子ども姿も見られました。他校のさまざまなブース活動に刺激を受けたり、日頃の活動内容を知って今後の活動の参考になりました。

小学校金管バンド演奏



鈴鹿市の玉垣小学校・神戸小学校の子どもたちがステージで金管バンドの演奏を披露。大勢の皆さんが見事な演奏ぶりに聴き入ってくれました。



8名のJRCメンバーが参加。正月飾りやミカン販売の体験を通じて、販売業の人たちがお客さんに納得して商品を買ってもらうためにいかに努力をしているかを知ることができました。ステージではハンドベルを演奏。日頃の練習の成果を披露しました。